

2025年日本国際博覧会に関する

駐車場対策協議会 設立趣意書

2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）は、我が国有数の都市圏である大阪・関西地域で開催され、来場者の交通需要による道路、鉄道等の混雑が想定されている。

このため、大阪・関西万博の開催に当たっては、万博来場者の安全で円滑な移動を実現し、大阪・関西圏の社会経済活動を支える人流・物流への影響を最小化することが必要不可欠である。

来場者輸送においては、原則、鉄道や主要駅からのシャトルバス等の公共交通機関の利用を呼びかけるとともに、やむを得ず自家用車を利用する者に対しては、舞洲、尼崎、堺の会場外（P&R）駐車場の利用によるシャトルバス連絡を行う計画としている。

これら交通集中が見込まれる会場外駐車場や万博により人流物流の活発化が想定される主要駅周辺等において、道路交通対策として、交通渋滞や事故等の要因となる空き駐車場を探して移動する「うろつき交通」をなくすことが必要である。

このため、関係者により本協議会を設立し時間貸し駐車場を管理運営する民間事業者と連携した駐車場対策の取り組みを検討することとした。

大阪・関西万博時のうろつき交通の防止等に向け、会場外駐車場や主要駅周辺等の駐車場を計画的にマネジメントし、交通の円滑化や安全性の確保を図るため、必要な検討と調整を行うことを目的として、2025年日本国際博覧会に関する駐車場対策協議会を設立するものである。